

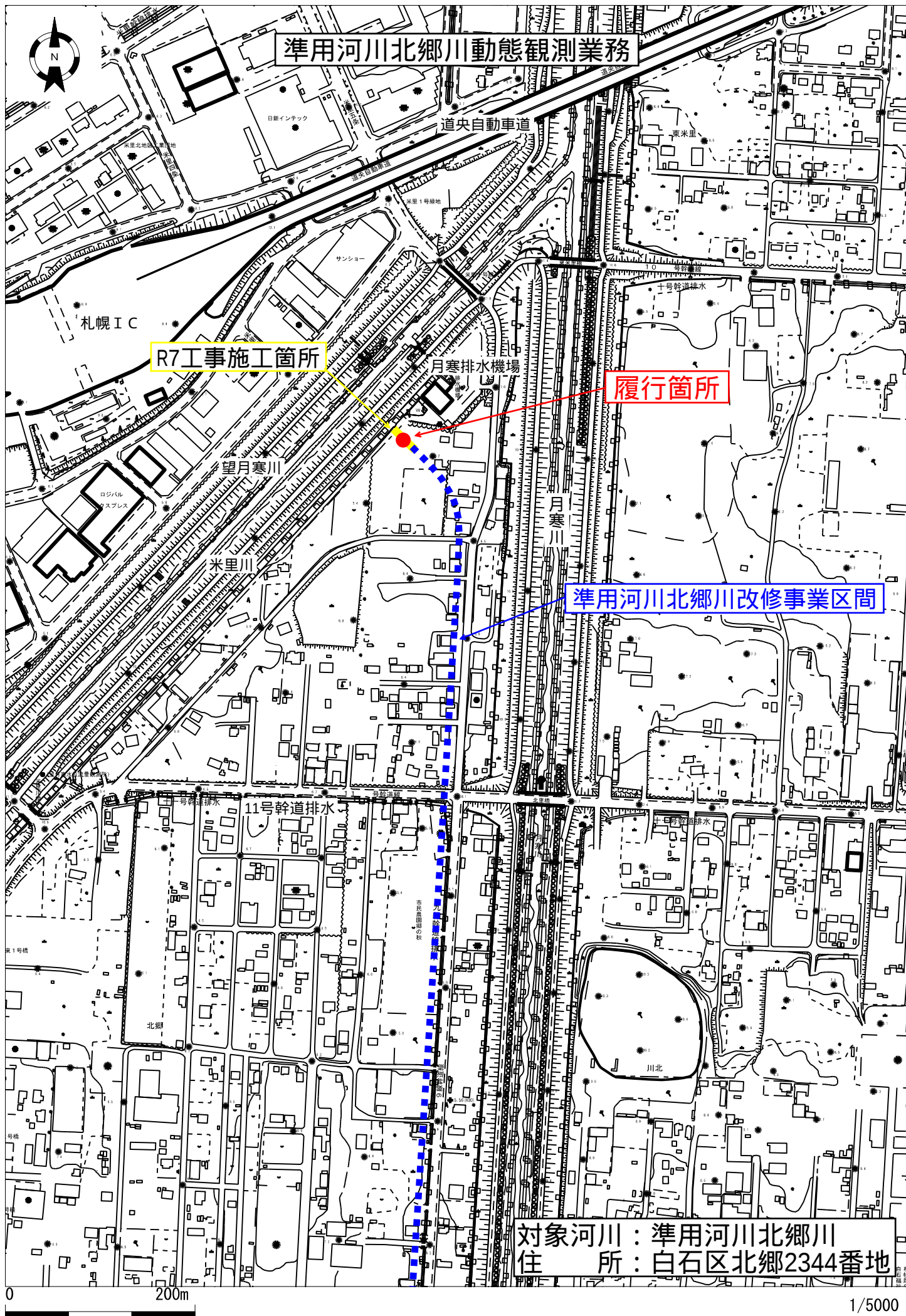
令和 7 年 度

業務設計書（公示用）

業務名： 準用河川北郷川動態観測業務

令和 8 年 1 月 単価適用

下水道河川局 事業推進部 河川事業課 河川工事係



()	業務名	準用河川北郷川動態観測業務
-----	-----	---------------

1. 積算金額

区 分		設計金額（円）
業 務 委 託 費		
内 訳	業 務 価 格	
	消費税相当額	

業務説明書

1. 概要

沈下・変位観測	一式
沈下解析報告書作成	一式

2. 場所 白石区北郷2344番地

3. 期間 契約締結日から令和8年12月7日までとする。

4. 図面 ー

5. 仕様書 札幌市土木設計業務共通仕様書、北海道河川事業設計要領、その他関係する指針・要領、別添特記仕様書による。

6. 特記仕様書 別添のとおり。

特記仕様書

第1章 業務目的

本業務は、1級河川米里川と準用河川北郷川との合流点に設置された逆流防止施設の沈下・変位観測、解析検討等を行うものである。

第2章 履行期間

契約締結日から令和8年12月7日までとする。

第3章 着手について

受託者は本業務を実施するにあたり、業務内容の詳細について委託者と十分協議し、次の書類を提出するものとする。

1. 着手届（様式4）
2. 主任技術者等指定通知書（様式5）
3. 業務日程表（様式6）
4. 役務履行計画書

第4章 完了について

受託者は、本業務の完了後速やかに次の書類を提出するものとする。

1. 完了届（役務-第9号様式）
2. 仕様書等に定める書類

第5章 沈下・変位観測、解析検討について

1. 沈下・変位観測は、「令和7年度 防災・安全交付金事業 準用河川北郷川改修工事」で設置した計器を使用し、河川事業設計要領（北海道）の動態観測要領に基づいて行うこと。
2. 観測対象箇所は沈下14箇所、変位8箇所とし、観測回数は4～7月に各1回の計88回を想定している。
3. 観測回数や箇所等に増減が生じる場合は、別途協議すること。
4. 観測結果は北海道へ報告を行うため、報告用の資料を作成すること。
5. 解析検討は、異常データのチェックや観測結果の検討、報告書の作成を行うこと。
6. 逆流防止施設や周辺地盤に異常が発生する恐れが生じた場合は、委託者に速やかに報告すること。

第6章 協議

受託者及び担当職員は、業務着手時及び業務の主要な区切りに打ち合わせを行い、その記録を打ち合わせ簿に取りまとめること。また、打ち合わせ簿については、双方が署名または押印した原本を委託者が保管し、複製を受託者が保管するものとする。協議は計3回とし、着手時・中間（1回）及び成果品納入時とする。

第7章 主任技術者

技術士（総合技術監理部門（業務に該当する技術部門に属する選択科目）または業務に該当する技術部門）、シビルコンサルティングマネージャ（RCCM）の資格保有者（業務に該当する技術士の技術部門に準拠）またはこれと同等の能力と経験を有する技術者であり、日本語に堪能（日本語通訳が確保できれば可）でなければならない。

第8章 成果品

報告書のまとめ方については下記を標準とし、詳細は担当職員と協議し決定すること。

1. 提出部数はA4版製本1部、電子データ2部（CD-R等）とする。なお、報告用の資料は製本2部とする。
2. 報告書データのファイル形式は、オリジナルデータとPDFデータとすること。仕様ソフトは事前に担当職員に確認すること。
3. 電子媒体提出前に、最新ソフトでのウイルスチェックを行い、納品する媒体のラベルにウイルスチェックに関する下記の情報を記載すること。
 - ① 使用したウイルス対策ソフト名
 - ② ウイルス（パターンファイル）定義年月日またはパターンファイル名
 - ③ チェック年月日

第9章 その他

1. 受託者は、業務上知り得た事項を他人にもらしてはならない。
2. その他、特記仕様書に定めのない事項については担当職員との協議による。

業 務 着 手 届

年 月 日

札幌市長 秋元 克広 様

(住所)

受託者

(氏名)

下記業務(役務)は 年 月 日着手したのでお届けします。

記

1 役務番号 第 号

2 役務の名称

様式 5 主任技術者等指定通知書（役務用）

主任技術者等指定通知書		
年 月 日		
札幌市長 秋元 克広 様		
(住所)		
受託者		
(氏名)		
役務番号	役務の名称	
上記業務（役務）に係る主任技術者等を次のとおり定めたので、別紙経歴書を添えて通知します。		
区 分	氏 名	備 考

- ・ 「区分」欄には、業務内容に応じ「主任技術者」、「主任設計者」、「照査技術者」等と、それぞれ記載すること。
- ・ 共同企業体の場合は、各技術者等の所属会社名を「備考」欄に記載すること。
- ・ 技術者等と請負人との直接的かつ恒常的な雇用関係を確認できる書類を添付すること。

(別紙) 技術者経歴書(役務用)

主任技術者 主任設計者 主任監理者 設備資格者 照査技術者					経歴書	
現住所						
氏名				生年月日	年 月 日	
最終学歴		卒業年月		学校名		専攻学科
		年 月				
職歴		年 月		入社 (年 月退職)		
		年 月		入社		
技術資格		年 月		取得No		
		年 月		取得No		
主要業務経歴	業務名			受託金額(千円)		履行期間
	直前1年分					年 月 年 月
						年 月 年 月
	直前2年分					年 月 年 月
						年 月 年 月

注1) 印の項目については、該当するものを○で囲むこと。

注2) 最終学歴は、小学校、中学校、高等学校、短期大学、大学又は高等専門学校のいずれかを記載し、専修学校、各種学校等は記載しないこと。

業 務 日 程 表

年 月 日

札幌市長 秋元 克広 様

(住 所)
受託者
(氏 名)

下記業務（役務）について、別紙日程をもって履行します。

記

- 1 役務番号 第 号
- 2 役務の名称
- 3 履行期間 着 手 令和 年 月 日
完 了 令和 年 月 日

日 程 表（別紙）

業 種	数 量	単位	日数	月							月							月							月							備考
				_	5	10	15	20	25	_	5	10	15	20	25	_	5	10	15	20	25	_	5	10	15	20	25	_	5	10	15	

この別紙は適宜変更して使用することができる。